

契約書別表に記載の除雪機の使用にあたっては、除雪作業前（当日）に警備室において鍵の貸し出しを受けること。

また、除雪機の使用が終了した時は、除雪機に付着した雪などを払い落とし、機器の異常を確認した上で、速やかに鍵を返還すること。

(2) 損害賠償

除雪機本体が故障したとき又は除雪機によって庁舎等に損害を与えた場合は、速やかに委託者に報告すること。このとき、通常使用による損害と考えられるときは委託者、誤操作等によって生じた損害と考えられるときは受託者が修繕費用を負担することを基本とし、個々の状況に応じて委託者と受託者が協議する。

4 作業員

(1) 事前の届出

受託者は、作業員について、あらかじめ別紙3「作業員名簿」により委託者へ届け出ること。

また、届出にあたっては、下記の車両の運転に必要な免許及び資格を確認できる資料を添付すること。（新たに作業員を追加する場合も同じ）

なお、除排雪機械の運転に当たっては、その構造形状及び機能等を十分に熟知した上で行わせること。

ア 除雪ドーザ 大型特殊免許（車両系建設機械技能講習終了又は同等以上の資格）

イ ダンプトラック 大型免許

(2) 届出事項の変更

免許有効期間の更新など、届出事項に変更ある場合は、速やかに届け出ること。

(3) 身分証明書等の携帯

除雪作業中、作業員には身分の分かる証明書を常時携帯させるものとし、受託者から提示を求められた場合は、これを提示すること。

5 作業の報告

(1) 作業の実施に当たっては、作業前と作業後の実施報告を警備室に行うこと。

(2) 業務を実施したときは、別紙4「除排雪作業記録表」を提出すること。

6 特別な事情

除排雪作業は原則「1 実施基準」に基づき、あらかじめ届け出た「2 使用車両」及び「3 作業員」によって実施すること。ただし、自然条件など特別な事情によって、これによらず下記の(1)～(3)により実施した場合は、別紙4にその理由を記載の上、当該時間の作業時間への繰り入れについて、業務担当員と協議すること。

(1) 1 (1) 及び (2) に定める作業完了時間を超過した場合

(2) 届け出していない車両によって除雪した場合

（代用する車両は、2 (1) アの車両規格と同等以上の作業効率を有し、かつ、同イ及びウの保険に加入したものとする）

(3) 届け出していない作業員によって除雪した場合

7 作業時間の算定

稼働時間については、実稼働時間をもって算出するものとし、車両格納庫と各除排雪対象庁舎間の移動時間及び休憩時間等は作業時間に含まないものとする。

8 その他

(1) 処理済の雪を敷地外に投棄する場合は、旭川市の指定する雪捨て場に投棄すること。

(2) 業務に必要な機材及び消耗品については、受託者の負担とする。

(3) その他この要領に定めのない事項や疑義のある場合は、業務担当員と協議すること。